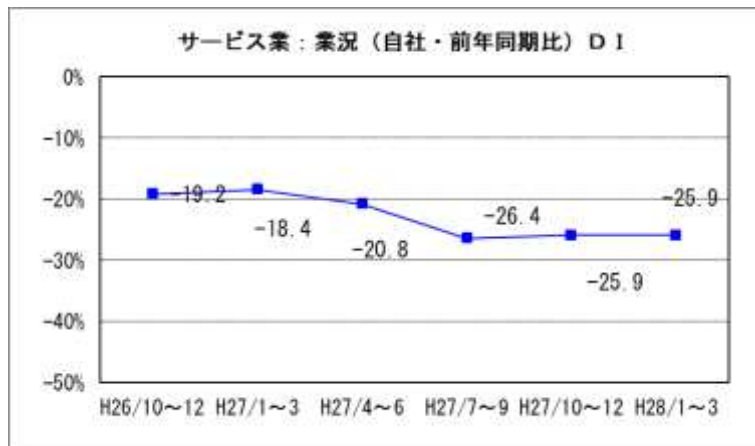


5. サービス業の動向

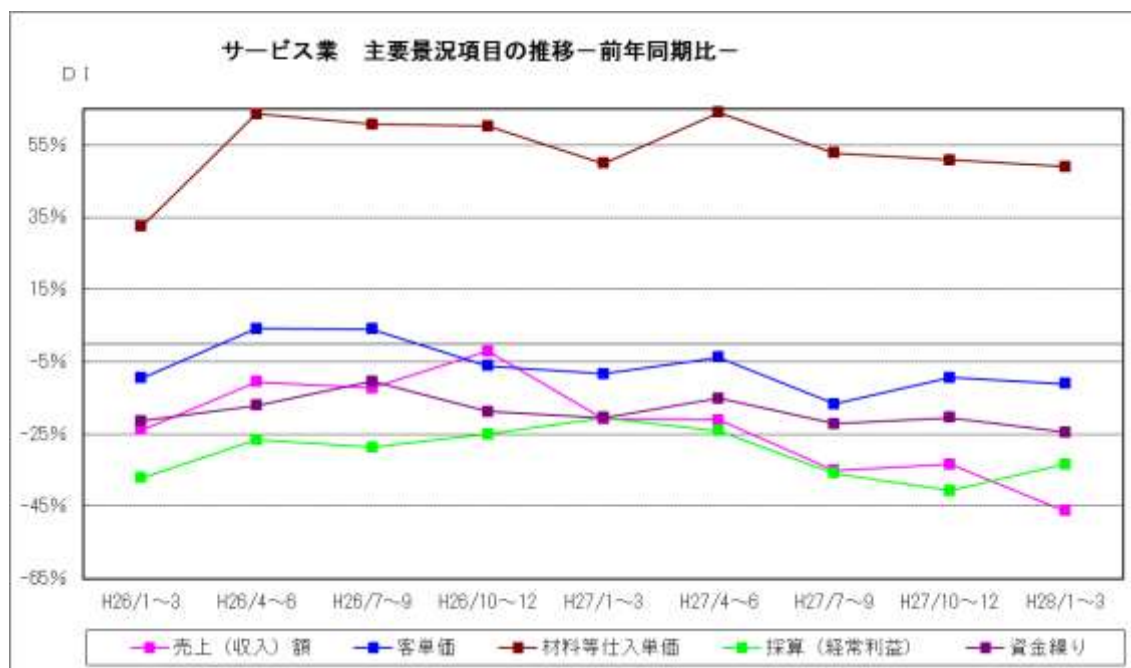
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス25.9。前期マイナス25.9から横ばいであった。来期見通しはマイナス18.8と改善の見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

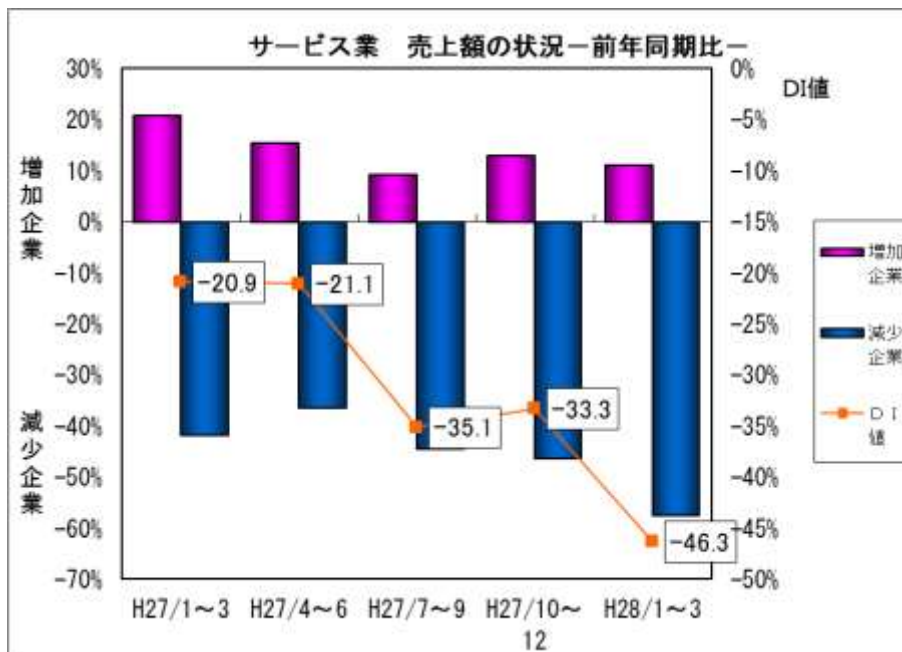
	前々期 (27年7月~9月)	前期(A) (27年10月~12月)	今期(B) (28年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲ 35.1	▲ 33.3	▲ 46.3	▲ 13.0	▲ 31.4
客単価	▲ 16.7	▲ 9.3	▲ 11.1	▲ 1.8	▲ 12.9
材料等仕入単価	52.8	50.9	49.0	▲ 1.9	35.8
採算(経常利益)	▲ 35.8	▲ 40.7	▲ 33.3	7.4	▲ 31.5
資金繰り	▲ 22.2	▲ 20.4	▲ 24.5	▲ 4.1	▲ 18.9



(2) 主要項目の概況

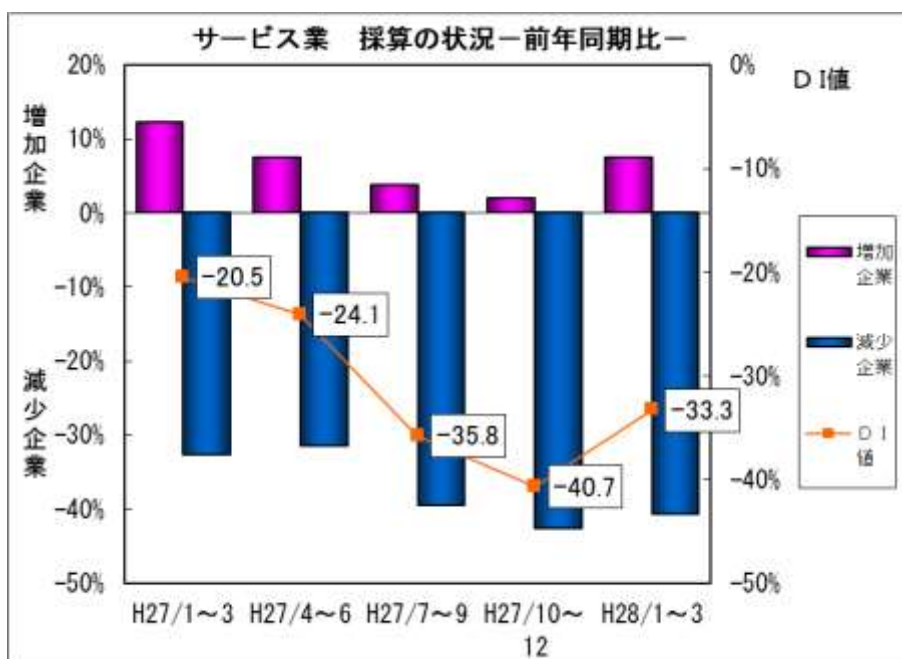
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス46.3。前期のマイナス33.3から13.0ポイントの下落となった。来期見通しは、マイナス31.4と改善の見込み。



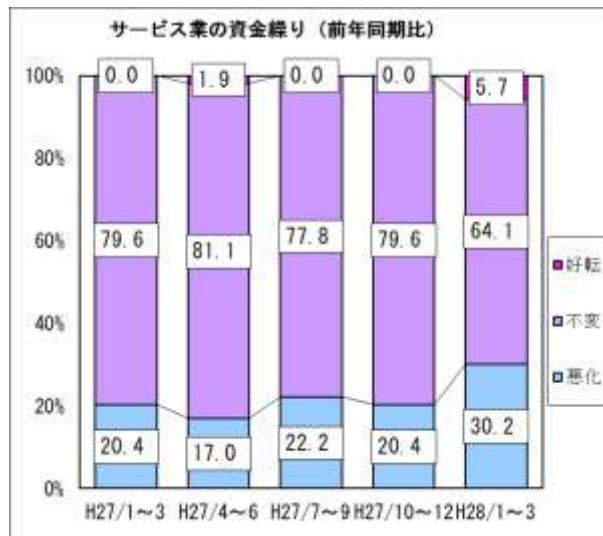
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス33.3。前期のマイナス40.7から改善。来期見通しは、マイナス31.5と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 24.5。前期のマイナス 20.4 から、4.1 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 18.9 と改善の見込み。

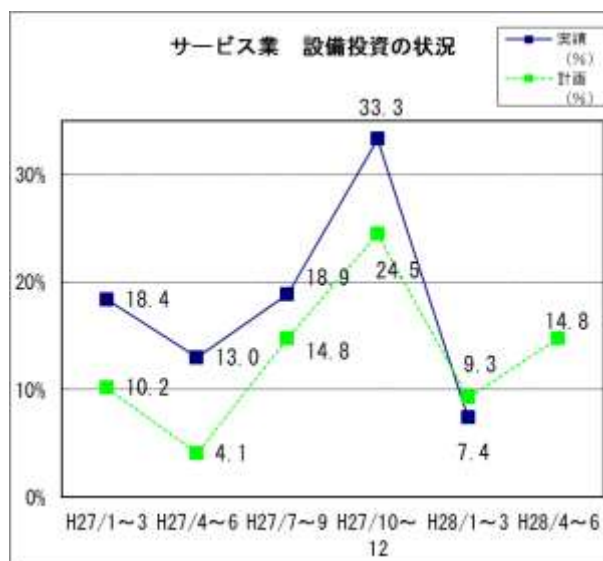


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	18	0	4	4	3	4	2	1	3	36
前期実施 (%)	33.3	0.0	22.2	22.2	16.7	22.2	11.1	5.6	16.7	66.7
今期実施 (実数)	4	0	2	1	0	0	2	1	0	50
今期実施 (%)	7.4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	92.6
来期計画 (実数)	8	1	1	4	1	1	0	1	1	46
来期計画 (%)	14.8	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	85.2

今期設備投資を実施した企業は 18 社（33.3%）。前期（平成 26 年 7～9 月期）は 10 社（18.9%）であった。来期は 5 社（9.3%）が設備投資を計画している。

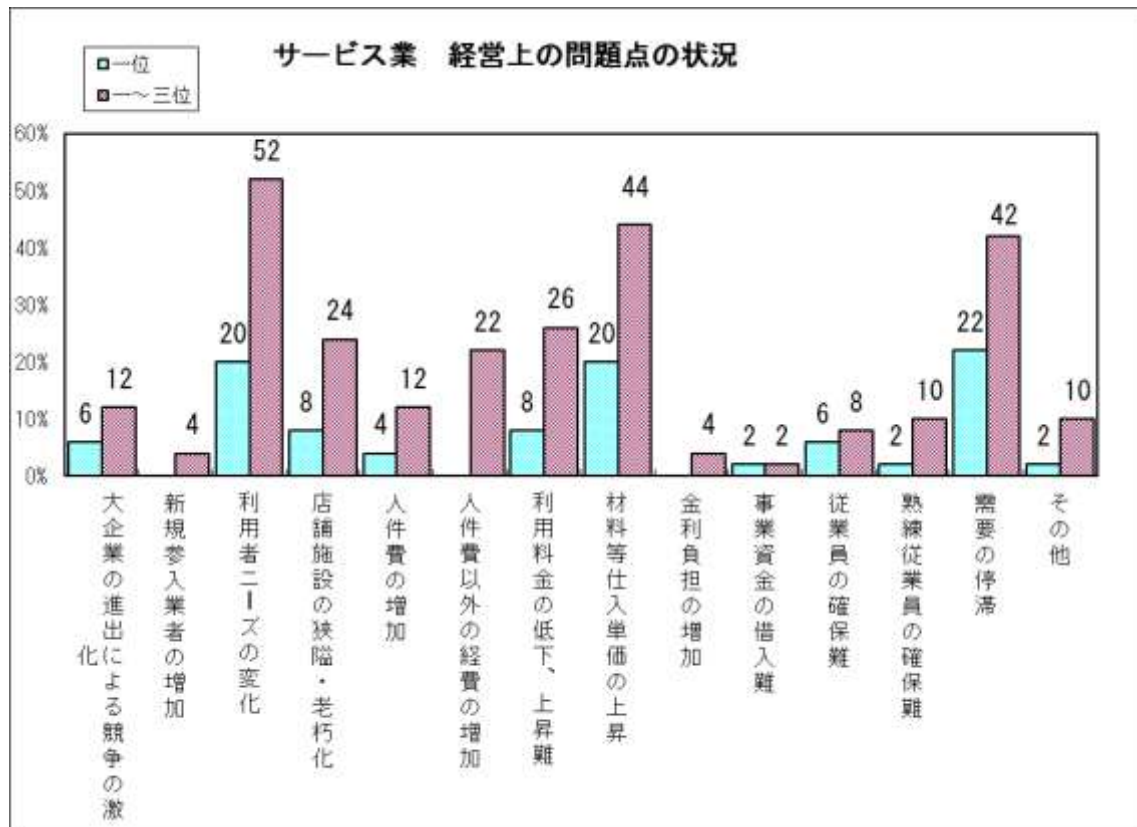


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 42.3%→今期 52.0%)
- ・ 「材料仕入単価等の上昇」 (前期 46.2%→今期 44.0%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 44.2%→今期 42.0%)

となっている。



以上